

## 【コミュニティ福祉学部／コミュニティ福祉学研究科】

## 2023年度以降入学者向け履修要項（2023年度配付）訂正・変更一覧

(2024年3月19日時点 訂正・変更一覧)

\* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

**訂正**：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子 PDF に赤字で訂正を反映しています**変更**：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子 PDF には反映をしていません

## &lt;2024年度中の訂正・変更箇所&gt;

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	2	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は <b>2024年度版の履修要項で確認すること。</b>
3/19	15	変更	科目ナンバリングについて	2 全学共通科目のナンバリング	言語系科目のナンバリングに複数の追加・変更が生じているので、 <b>2024年度履修要項で確認すること。</b>
3/19	20	変更	II 授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講	「授業形態」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は <b>2024年度版の履修要項で確認すること。</b>
	122		博士課程前期課程 授業 （学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	8 学校感染症に罹患した場合の措置について	
3/19	24	変更	III-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	以下の文言を追加  (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業 60 単位上限）。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。  履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。  「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、II 授業（学習生活）を参照

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	25	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	2 履修登録上限単位数	「〈全学共通科目の履修登録上限単位数〉」において、言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	38	変更	V 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」（2）※部分について以下のとおり変更 全学共通科目言語 A（英語） ↓ <b>全学共通科目言語系科目</b>
					「3. 抽選登録」（2）⑥部分について <b>全学共通科目言語自由科目（英語）に関する記載を削除</b>
3/19	43	変更	VI 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	137		博士課程前期課程 VI 試験・成績		
3/19	57	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業（9月卒業）とは」において以下の文言を追加（赤字部分）  3. 申請時において、在学8学期目以降の学生であること  ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学6学期以降で足りるものとする
3/19	60	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	151		博士課程前期課程 IX 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	67	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に以下のテーマを新設  9. Russian Language & Culture 選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	129	変更	博士課程前期課程 Ⅲ 履修規定（修了要件 単位について）	1 単位制度	「2. 単位の考え方」において以下の文言を 追加 3)前述の(1)(2)にかかわらず、研究指導等に ついては、これらの学修の成果を評価して単 位を授与することが適切と認められる場合 には、これらに必要な学修等を考慮して、単 位数を定める。
	164		博士課程後期課程 Ⅳ 履修規定	1. 単位制度	単位制度については、博士課程前期課程Ⅲ履 修規定(修了要件単位について)「1. 単位制 度」を参照すること
3/19	149	変更	博士課程前期課程 Ⅶ 修士論文	3. 試問・審査	以下の文言の追加
	168		博士課程後期課程 Ⅶ 博士学位申請	2. 「論文」提出に関する諸規 定 3. 「学位論文」倫理規定	・ 学位授与の方針に定めた知識、能力等を 有すると認められること
3/19	150	変更	博士課程前期課程 Ⅷ 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了〈特別修了（9月修了）（3 月修了）申請条件〉」において以下の文言の 削除  TESOL-J

<2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
5/18	22	変更	Ⅱ 授業	7 学校感染症に罹患し た場合の措置について	提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」 または「診断書」とする（窓口交付の申請書 は廃止）。 申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を 交付する（申請書および診断書もしくは治癒 証明書のコピーを返却する対応の廃止）。
	124		研究科に関わる事項 授業（学習生活・履修計 画の立て方・オフィスア ワー）		
9/1	32	変更	Ⅲ-3 履修規定（単位認 定）	4 入学前に修得した単 位の認定  (3) 認定科目名・履修 区分	下線部を追記 <全学共通科目> 全学共通科目として認定する場合は、科目 名で表示せず、その内容から特定の履修区 分に振り替えて認定する。ただし、本学で修 得した科目については、本学の科目名で認定 する。

9/1	32	訂正	Ⅲ-3 履修規定（単位認定）	<p>4 入学前に修得した単位の認定</p> <p>(6) 認定の上限単位数</p>	<p>入学前に本学以外で修得した単位の認定は、学則（「立教大学学則第2章第10条の2第1項～第10条の4第3項」）で定められている単位認定の上限60単位に含まれる。</p> <p>なお、全学共通科目について、総合系科目の卒業要件単位数を超えて単位認定された場合、その単位の扱いは<u>コミュニティ福祉学部の卒業要件単位における全学共通科目超過単位の扱いと同様とする。履修区分「自由科目」への算入は認めず、随意科目の単位として扱う。</u></p>
-----	----	----	----------------	--	---

以上

## 【全学共通科目】

2023年度1年次入学者向け履修要項(2023年度配付)訂正・変更一覧  
(2024年3月19日時点 訂正・変更一覧)

**訂正**：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

**変更**：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

## &lt;2024年度中の訂正・変更箇所&gt;

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	全3 全7 全8	変更	全学共通科目とは  総合系科目	9月入学者向けの補足事項	以下の文言(下線部分)を追記  9月入学者は、4月入学者と履修時期が異なる。 本文は以下のように読み替えること。 1年次春学期 → 1年次秋学期 1年次秋学期 → 1年次春学期 <u>*NEXUS プログラム生(異文化コミュニケーション学部を除く)</u> は、上記の読み替えは不要
3/19	全11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目 (F科目)	TOEIC → TOEIC®L&R  主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるとい旨を追記。
3/19	全16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ1・2」 ↓ 「海外ワークエクスperiences1・2」
3/19	全34 ～ 全38	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024年度R Guide掲載の 「 <a href="#">言語自由科目 カリキュラムの改定について</a> 」を参照すること。

## &lt;2023年度中の訂正・変更箇所&gt; なし